



# 香川短期大学と オリブと 同窓会

副会長 齊藤 栄嗣

香川短期大学の学章はオリブの葉を冠にしてデザインされています。また、学歌も2番の歌詞が「瀬戸の島はるかにのぞみ 花ひらく平和の苑に 友愛のまことをこめて オリブのしるしはかおる・・・」と読まれています。まさに、オリブは香川短期大学を象徴する木なのです。オリブは元来、「幸せを呼ぶ木」として、平和・知恵・安らぎ・勝利を意味すると安らぎ・勝利を意味すると言われてきました。昭和期の普通寺学舎中庭には十数本のオリブの木が教室や研究室の窓際に沿って植えられていたのを懐かし思い出します。現在の宇多津学舎にもオリブの木が植えられており、正門を入った正面玄関ロタリーには4本のオリブの木がしっかりと根つき、学生や来学者を優しく出迎えてくれています。

香川短期大学同窓会の愛称として親しまれている「オリブ会」のネーミングには、同窓会の会員とな

られた皆さんが「幸せ」と言える人生を万世にわたって歩んで欲しいと願う先人の英知を何うことが出来ませう。建学の精神「愛敬誠」の教えとともに自ずと論議されているような気がします。

創立以来、半世紀を超える期間に生活文化学科(旧家政科)・子ども学科第一部(旧幼児教育学科第一部)・子ども学科第三部(旧幼児教育学科第三部)・経営情報科で実学を学んだ13,385人の学生が卒業されて同窓会「オリブ会」の会員となられています。会員の皆さんは、学ばれた専門性と取得された資格・免許を生かして現在、地域社会の様々な立場でご活躍されていることと思えます。また、会員の皆さんのご子息、ご息女、お孫さんが本学にご入学されていることも大変嬉しく存じます。

さて、現同窓会「オリブ会」の中川榮子会長より、同窓会「オリブ会」の設立後から会員の皆様へ情報誌として郵送されてき

発行所 香川短期大学同窓会  
オリブ会 (0877)49-5500  
責任者 中川 榮子  
印刷所 四国システム印刷機 (0877)49-0142



香川短期大学学章



現在の正面玄関前ロタリーのオリブ



昭和期の普通寺校舎中庭のオリブと学生による野点

設置された同窓会「オリブ会」室が卒業生の皆様に大いに活用されて、親睦と新たな活動が展開されていきますことを大いに期待いたします。21世紀は心の時代だと言われています。本学の建学の精神である「愛敬誠」の哲学をさらに深め、人と人をつなぐ心を大切にすることが求められているのではないのでしょうか。

最後に同窓会の礎をつくられた初代の辰巳幸子会長、同窓会を長きにわたりの五嶋啓子会長、現三代目の中川榮子会長は、本学教職員一同心よりお礼と感謝を申し上げますとともに、同窓会「オリブ会」の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「オリブ会報」の電子データ化についてのお知らせ  
「オリブ会報」の電子データ化についてのお知らせ  
「オリブ会報」の電子データ化についてのお知らせ

この大きな転機に際し、オリブ会報を振り返ってみました。香川短期大学同窓会「オリブ会」は「最初からきちんとしておかなければならない」という初代会長の強いリーダーシップのもと、第一回卒業式と同時に発足し、記念すべき第一号も発行されたのです。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、このオリブ会報の題字は初代学長小野嘉明先生の筆によるものです。「とにかく形を整えて、次の人にバトンタッチしなければならぬ」という一期生としての気負いと責任感で走り出した日々を懐かしく思い返しています。

あれから55年。さまざまなことがありました。香川看護専門学校と共に活動していた時期、会報の宛名書

きや発送を評議員の方々にお願していた時期もありました。その年々の理事の皆さまの多大なご尽力、記事を書かせてくださった会員の皆さま、素敵なイラストを描いてくださった学生の皆さま、大学・先生方のおたまたまご協力のおかげで途切れることなく第55号を迎えることができました。

会報が毎年届くことで、母校が次々と大きく発展していく様子や、母校の「今」を知ることができ誇らしく思ったり、同窓生のまごの記事で会員の皆さまの活躍を頼もしく思っていました。この会報のおかげで55年もの長きに渡り母校と繋がりが持てたことは素晴らしいことだったと改めて気づきました。

形は変わりますが、会報が母校と会員を繋ぐ大切な役割を担っていることに変わりはなく期待を込めてエールを送ります。

尽誠学園高等学校の校庭の北端にある一棟だけの学舎から始まった学生生活。先輩のいない何もかも手探りの、それでいて伝統なるものを作っていくかなければならない。無我夢中でしたが、私の生き方の核となるものに出会えた時間でもあったと、今にして思いま

## 「オリブ会報」

(家政科被服コース卒業前会長) 五嶋 啓子

大学祭開催のご案内

日時 2023年10月21日(土) 22日(日)

時間 10時〜4時(22日は3時終了)

テーマ 『明盛』(めいせい)

同窓会報・卒業アルバム等の展示を5階で行います。

### 同窓会報の電子データ化についてのお知らせ

毎年、年一回、同窓会報を紙面にて発行・発送して参りましたが、近年の予算書をご頂くとお分りの通り、印刷や郵送料などに多額の費用を要しております。今後も、年々同窓生は増え続け、それに伴い経費も増加していきます。すでに世の中の流れがインターネットを活用した「デジタル化」の傾向にあります。

54号でお知らせしました通り、令和6年度から同窓会報を電子データ化し、ホームページから会報をご覧いただけるようになります。なお、これまで印刷や郵送料としてかかっていた費用をあらたな事業費に充てていく方針です。

今後、メール等による配信なども行うことを考えております。ご意見・ご感想がございましたら、メールでも受け付けております。同窓生各位の、ご理解、ご協力、並びに、ご支援を心よりお願い申し上げます。同窓会メール oliveinfo@kjc.ac.jp

ご案内・お知らせ



★令和6年度管理栄養士国家試験対策講座開講

日時: 令和6年4月より、8、9、3月を除く毎月第2日曜日9:30~12:30
なお、令和6年度の前期の講座は4/14、5/12、6/9、7/14を予定しています。

場所: 本学食物栄養学実習室
講師: 本学食物栄養学専攻 講師
受講料: 無料
ただし、基本的なテキストとして、クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2024-25(医療情報科学研究所、メディックメディア発行)を使用致しますので、各自でご購入をお願い致します。

対象: 本学の卒業生及び在学生
お申し込み及びお問い合わせ: 下記の連絡先に、TEL、FAXまたはE-mailにてお願い致します。
連絡先: 香川短期大学生活文化学科食物栄養専攻 高見由利恵
TEL: 0877-49-8070 FAX: 0877-49-5561 E-mail: takami@kjc.ac.jp

★令和5年度管理栄養士国家試験対策講座開講

令和5年度の後期の講座(開講日: 10/1、11/12、12/3、1/14、2/4)が始まります。
あらかじめご連絡をいただければ資料をご用意致しますので、自由にご参加下さい。
また、第37回管理栄養士国家試験では1名の卒業生が合格しました。おめでとうございます。
今後受験して合格した人は是非ご連絡ください。ご健闘をお祈りしています。

★子ども学科行事「こども劇場」について

「地域に根ざした短大」との考えに基づき、子ども学科第1部・子ども学科第3部では高松、坂出、宇多津、丸亀、多度津までの子どもたちを毎年招待し、教員、学生全員で各ゼミの特色を活かした発表を行い、楽しく交流を図っています。
今年度は下記の日程で行います。
日時: 令和6年1月11日(木)、1月12日(金)
場所: ユープラザ宇多津、レクザムホール
時間: 10:00~11:30(ご招待のみ)



★子ども学科保育士支援制度

子ども学科では保育士として就職する方を支援する保育士修学支援制度があります。この制度は入学後に申請する制度で保育士として就職する学生に貸付する制度です。
香川県保育士修学支援貸付制度: 入学時と卒業時に20万円、在学期間中に月額5万円の貸付される制度。5年間香川県内保育園に勤務すると返還免除。
丸亀市保育士就職準備金貸付制度: 卒業学年対象で丸亀市内の公立・私立保育園に就職内定している学生に就職準備金最高30万円の貸付制度。3年間勤務で返還免除。
丸亀市保育士修学支援貸付制度: 在学中の修学期間中に月額3万円貸付される制度。3年間丸亀市内保育園に勤務すると返還免除。

地域からの期待を感じました。当初は、園長・主任、給食2名、1年先輩の保育士2名、それ以外は全員卒業したのの保育士でした。私が初年度に受け持った生徒は、私が3歳児12名でした。初めてでわからないことだらけ。短大の先生方にも指導いただきながら手探りの日々でした。思い出すたびに、失敗ばかりで、子どもたちにも保護者にも申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。それでも、経験の少ない私たちがこの仕事を任せてくださった、感謝しつづつ成長できたように思います。

就職した時は、ずっと仕事を続けるものと思っていましが、家庭の事情で6年目に退職しました。それでも、自分が困った時には必ずと言っていいほど手を差し伸べて助けてくれたのが、短大附属の保育園と幼稚園です。(入退職を数回した経験者)
(生活文化学科食物栄養専攻卒業) 藤田 朋代

私は小さいころから食べるのが大好きでした。何となく眠れずにいる時に、母が作ってくれる夜食は特別な料理に感じていました。いつも忙しい母が、その時は食べ終わるまでずっと一緒にいてくれるのがうれしかったのです。
さて、私が仕事として食にかかわってみようと思ったのは高校3年生の時でした。それまではただ食べるのが好きというだけで、家族とかかわりの中で栄養士という職業に関心が出てきた。例えば、祖父が暑さで食欲がない時に、どんな味付けにすれば食欲が増すのかを考えてみたり、暑さで疲れた体にはどんな栄養が必要なのかと調べてみたりしました。その中で食について考えることは、人が笑顔で健康に過ごすために、大切だと感じることになったのです。

卒業生にオリーブ賞(同窓会会長賞)授与
令和4年度は、子ども学科第1部・子ども学科第3部の香川短期大学ダンスゼミに授与いたしました。
編集後記
同窓会事務局からのお知らせです。このオリーブ会報55号をお読みください。編集後記は、今後とも併せて掲載いたします。ご意見・ご感想は、編集後記欄にお寄せください。併せて来年の同窓生の成長を感じられてうれしく思いました。このやりがいのある仕事を続けたい、栄養教諭になりたいという思いが育ち、必要な単位の修得や実習、たかさんの先輩や先生方からのサポートをいただき、栄養教諭になることができました。
今、栄養教諭として日々を過ごしていますが、提供している給食の向こうには、だれがどんな表情・姿でいるのかを意識するようになっていきます。子どもたちの笑顔、元気に遊んでいる姿があることを願って、旬のものや地場産物、郷土料理などを取り入れながら献立作成をしています。そして、大人になった時に少しでも給食のことを思い出してくれたらいいなと思います。

本部だより

評議会

- 令和5年度評議会 於 短大2階会議室 4月22日(土)
1. 令和4年度会計報告
2. 令和4年度会計監査報告
3. 令和5年度行事予定
4. 令和5年度予算作成
5. オリーブ会報について
6. 新役員紹介
顧問: 芳正 啓子、五嶋 雅子、加野 五郎、山田 光、山岡 明美、細川 由依、鈴木 西内、高瀬 明美、高見 由利恵
会長: 山田 光、副会長: 山岡 明美、監事: 山岡 明美、理事: 山岡 明美、山岡 明美、山岡 明美、山岡 明美
7. 新評議員紹介
生活文化3 4 田中 春香、生活文化3 4 山本 春奈、子ども14 山本 春奈、子ども14 山本 春奈、経営情報3 5 山本 春奈

学内ニュース

<令和4年度退職された教職員>(敬称略)
藤井 園美子、福谷 澄子、荒谷 友里恵、田村 充、池上 有美子、岩永 十紀子
<永年勤続表彰者>(敬称略)
藤原 まゆみ、横本 俊美

Table with financial data for fiscal years 2022 and 2023, including income and expenditure sections.



同窓生のまよひ
(幼児教育学科卒業)
前のそま(とも園長)
清水 年志子

令和5年4月のある日、懐かしい方から電話がかかってきました。久しぶりと懐かしんでいると、オリーブ会報の依頼。「のぞみ保育園(現のぞみこども園)が開園したときに入職した先生にぜひ、「いやいや、3月末で退任したから現場の方に辞退したので、紙ベースの会報がこちらで最後になるからと説得され、同じ一区切りというところで引き受けさせていただきました。私が香川短期大学の幼児教育学科(現子ども学科)に入学するきっかけは、中

学3年生の担任からの言葉でした。「あなたは、保育園の先生に向いていると思うのよ、ね。一進路相談の時にそう言われて将来の道を決めました。
短大では、蓮井先生顧問の児童文化ゼミに所属しました。地域の子どもたちにも楽しんでもらう公演内容について、ゼミの友達の家泊まり込んで話し合ったり、セリフの練習をしたり、大道具や小道具、衣装や音響の用意など時間を忘れて取り組ましました。市民会館や短大の公演は緊張しましたが、友達とのかけがえのない貴重な体験でした。
短大卒業後は、開園したばかりの香川短期大学付属保育園に就職しました。ローカルですがメディアにも紹介された。地域からの期待を感じました。当初は、園長・主任、給食2名、1年先輩の保育士2名、それ以外は全員卒業したのの保育士でした。私が初年度に受け持った生徒は、私が3歳児12名でした。初めてでわからないことだらけ。短大の先生方にも指導いただきながら手探りの日々でした。思い出すたびに、失敗ばかりで、子どもたちにも保護者にも申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。それでも、経験の少ない私たちがこの仕事を任せてくださった、感謝しつづつ成長できたように思います。

大切な宝物の時間だったなと感謝の気持ちでいっぱいです。
今回、原稿の依頼をいただいたことで、ひとつの区切りを迎えたいからと、素敵な出会いがたくさんあったこと、香川短期大学を卒業して良かったと振り返ることができました。声をかけてくださった高畑理事、ありがとう。
今後、紙面はオンラインラインへと移ります。時代の変化も急速に進んでいますが、変わらないものは、人と人とのつながりだと思えます。「愛」「敬」「誠」の建学の精神を大切に、香川短期大学が担う役割が今後も永く続いていくことを微力ではありますが、応援していきたいと思えます。

「人とかかわりの中で見つけた食」
藤田 朋代
私は小さいころから食べるのが大好きでした。何となく眠れずにいる時に、母が作ってくれる夜食は特別な料理に感じていました。いつも忙しい母が、その時は食べ終わるまでずっと一緒にいてくれるのがうれしかったのです。
さて、私が仕事として食にかかわってみようと思ったのは高校3年生の時でした。それまではただ食べるのが好きというだけで、家族とかかわりの中で栄養士という職業に関心が出てきた。例えば、祖父が暑さで食欲がない時に、どんな味付けにすれば食欲が増すのかを考えてみたり、暑さで疲れた体にはどんな栄養が必要なのかと調べてみたりしました。その中で食について考えることは、人が笑顔で健康に過ごすために、大切だと感じることになったのです。

成長を感じられてうれしく思いました。このやりがいのある仕事を続けたい、栄養教諭になりたいという思いが育ち、必要な単位の修得や実習、たかさんの先輩や先生方からのサポートをいただき、栄養教諭になることができました。
今、栄養教諭として日々を過ごしていますが、提供している給食の向こうには、だれがどんな表情・姿でいるのかを意識するようになっていきます。子どもたちの笑顔、元気に遊んでいる姿があることを願って、旬のものや地場産物、郷土料理などを取り入れながら献立作成をしています。そして、大人になった時に少しでも給食のことを思い出してくれたらいいなと思います。

香川短期大学ダンスゼミは本学学生の本分を尽くすとともに社会的な活動に真摯に取り組む、本学の名声を高める多様な功績を残されました。
まよひの記事も募集しています。(お店・イベントなどの紹介も可)
短大生活文化3部 55号をお読みください。編集後記は、今後とも併せて掲載いたします。ご意見・ご感想は、編集後記欄にお寄せください。併せて来年の同窓生の成長を感じられてうれしく思いました。このやりがいのある仕事を続けたい、栄養教諭になりたいという思いが育ち、必要な単位の修得や実習、たかさんの先輩や先生方からのサポートをいただき、栄養教諭になることができました。
今、栄養教諭として日々を過ごしていますが、提供している給食の向こうには、だれがどんな表情・姿でいるのかを意識するようになっていきます。子どもたちの笑顔、元気に遊んでいる姿があることを願って、旬のものや地場産物、郷土料理などを取り入れながら献立作成をしています。そして、大人になった時に少しでも給食のことを思い出してくれたらいいなと思います。